

1【四半期財務書類】

(1)【四半期連結財務諸表】

①【四半期連結貸借対照表】

| | | 前連結会計年度 2018年12月31日 (単位：千円ドル) | 前連結会計年度 2018年12月31日 (単位：百万円) | 当第2四半期 連結会計期間末 2019年6月30日 (単位：千円ドル) | 当第2四半期 連結会計期間末 2019年6月30日 (単位：百万円) |
|---------------|----|-------------------------------------|------------------------------------|--|---|
| 資産の部 | | | | | |
| 流動資産 | | | | | |
| 現金及び預金 | | 8,420 | 908 | 7,302 | 787 |
| 売掛金 | ※1 | 4,007 | 432 | 2,735 | 295 |
| 未収入金 | | 42 | 5 | 106 | 11 |
| その他 | | 657 | 71 | 738 | 80 |
| 流動資産合計 | | 13,127 | 1,415 | 10,881 | 1,173 |
| 固定資産 | | | | | |
| 有形固定資産 | | | | | |
| 建物及び構築物 | | 227 | 25 | 952 | 103 |
| 減価償却累計額 | | △ 198 | △ 21 | △ 371 | △ 40 |
| 建物及び構築物（純額） | | 30 | 3 | 581 | 63 |
| 工具、器具及び備品 | | 503 | 54 | 561 | 61 |
| 減価償却累計額 | | △ 377 | △ 41 | △ 429 | △ 46 |
| 工具、器具及び備品（純額） | | 126 | 14 | 132 | 14 |
| 有形固定資産合計 | | 156 | 17 | 713 | 77 |
| 無形固定資産 | | | | | |
| のれん | | 4,454 | 480 | 4,194 | 452 |
| ソフトウェア | | 367 | 40 | - | - |
| ソフトウェア仮勘定 | | 206 | 22 | 1,731 | 187 |
| 顧客関連無形資産 | | 842 | 91 | 576 | 62 |
| 契約関連無形資産 | | 1,549 | 167 | 1,333 | 144 |
| 無形固定資産合計 | | 7,417 | 800 | 7,834 | 844 |
| 投資その他の資産 | | | | | |
| 関係会社株式 | | 453 | 49 | 450 | 49 |
| 投資その他の資産合計 | ※1 | 453 | 49 | 450 | 49 |
| 固定資産合計 | | 8,027 | 865 | 8,997 | 970 |
| 資産合計 | | 21,154 | 2,280 | 19,878 | 2,143 |

| | 前連結会計年度 2018年12月31日 (単位：千米ドル) | 前連結会計年度 2018年12月31日 (単位：百万円) | 当第2四半期 連結会計期間末 2019年6月30日 (単位：千米ドル) | 当第2四半期 連結会計期間末 2019年6月30日 (単位：百万円) |
|---------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|---|
| 負債の部 | | | | |
| 流動負債 | | | | |
| 買掛金 | 1,314 | 142 | 1,319 | 142 |
| 短期借入金 | 662 | 71 | 638 | 69 |
| 未払法人税等 | 430 | 46 | 120 | 13 |
| 未払金 | 1,315 | 142 | 1,547 | 167 |
| 未払費用 | 2,249 | 242 | 2,155 | 232 |
| 前受収益 | 7 | 1 | 3 | 0 |
| その他 | 120 | 13 | 416 | 45 |
| 流動負債合計 | 6,097 | 657 | 6,198 | 668 |
| 固定負債 | | | | |
| 長期借入金 | 3,528 | 380 | 3,515 | 379 |
| 繰延税金負債 | 17 | 2 | 17 | 2 |
| その他 | - | - | 239 | 26 |
| 固定負債合計 | 3,545 | 382 | 3,770 | 406 |
| 負債合計 | 9,642 | 1,039 | 9,969 | 1,075 |
| 純資産の部 | | | | |
| 株主資本 | | | | |
| 資本金 | 40 | 4 | 42 | 4 |
| 資本剰余金 | 441,637 | 47,604 | 442,597 | 47,708 |
| 利益剰余金 | △ 398,561 | △ 42,961 | △ 400,834 | △ 43,206 |
| 株主資本合計 | 43,116 | 4,648 | 41,805 | 4,506 |
| その他の包括利益累計額 | | | | |
| 為替換算調整勘定 | △ 34,853 | △ 3,757 | △ 34,902 | △ 3,762 |
| その他の包括利益累計額合計 | △ 34,853 | △ 3,757 | △ 34,902 | △ 3,762 |
| 新株予約権 | 108 | 12 | 80 | 9 |
| 非支配株主持分 | 3,140 | 338 | 2,927 | 315 |
| 純資産合計 | 11,512 | 1,241 | 9,909 | 1,068 |
| 負債純資産合計 | 21,154 | 2,280 | 19,878 | 2,143 |

②【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

| | 前第2四半期連結累計期間 自 2018年1月1日 至 2018年6月30日 (単位：千米ドル) | 前第2四半期連結累計期間 自 2018年1月1日 至 2018年6月30日 (単位：百万円) | 当第2四半期連結累計期間 自 2019年1月1日 至 2019年6月30日 (単位：千米ドル) | 当第2四半期連結累計期間 自 2019年1月1日 至 2019年6月30日 (単位：百万円) |
|---------------------|--|---|--|---|
| 売上高 | 4,343 | 468 | 4,276 | 461 |
| 売上原価 | 3,703 | 399 | 3,959 | 427 |
| 売上総利益 | 640 | 69 | 318 | 34 |
| 販売費及び一般管理費 | | | | |
| 役員報酬 | 100 | 11 | 100 | 11 |
| 給料及び手当 | 593 | 64 | 802 | 86 |
| 減価償却費 | 490 | 53 | 648 | 70 |
| のれん償却額 | 604 | 65 | 259 | 28 |
| 支払手数料 | 590 | 64 | 485 | 52 |
| 地代家賃 | 205 | 22 | 57 | 6 |
| その他 | 613 | 66 | 696 | 75 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,194 | 344 | 3,047 | 328 |
| 営業損失(△) | △ 2,554 | △ 275 | △ 2,729 | △ 294 |
| 営業外収益 | | | | |
| 受取利息及び配当金 | 0 | 0 | 53 | 6 |
| 為替差益 | - | - | 209 | 23 |
| 補助金収入 | 57 | 6 | 28 | 3 |
| その他 | - | - | 5 | 1 |
| 営業外収益合計 | 57 | 6 | 296 | 32 |
| 営業外費用 | | | | |
| 支払利息 | 122 | 13 | 44 | 5 |
| 為替差損 | 53 | 6 | - | - |
| 持分法による投資損失 | 241 | 26 | 8 | 1 |
| 営業外費用合計 | 416 | 45 | 52 | 6 |
| 経常損失(△) | △ 2,913 | △ 314 | △ 2,485 | △ 268 |
| 特別損失 | | | | |
| 固定資産除売却損 | 0 | 0 | - | - |
| 減損損失 | 10,568 | 1,139 | - | - |
| 特別損失合計 | 10,569 | 1,139 | - | - |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △ 13,482 | △ 1,453 | △ 2,485 | △ 268 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 法人税等 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 四半期純損失(△) | △ 13,482 | △ 1,453 | △ 2,486 | △ 268 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △ 144 | △ 16 | △ 213 | △ 23 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △ 13,338 | △ 1,438 | △ 2,273 | △ 245 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

| | 前第2四半期連結累計期間 自 2018年1月1日 至 2018年6月30日 (単位：千米ドル) | 前第2四半期連結累計期間 自 2018年1月1日 至 2018年6月30日 (単位：百万円) | 当第2四半期連結累計期間 自 2019年1月1日 至 2019年6月30日 (単位：千米ドル) | 当第2四半期連結累計期間 自 2019年1月1日 至 2019年6月30日 (単位：百万円) |
|------------------|--|---|--|---|
| 四半期純損失(△) | △ 13,482 | △ 1,453 | △ 2,486 | △ 268 |
| その他の包括利益 | | | | |
| 為替換算調整勘定 | 40 | 4 | △ 50 | △ 5 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 33 | 4 | 5 | 1 |
| その他の包括利益合計 | 73 | 8 | △ 46 | △ 5 |
| 四半期包括利益 | △ 13,409 | △ 1,445 | △ 2,532 | △ 273 |
| (内訳) | | | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △ 13,278 | △ 1,431 | △ 2,322 | △ 250 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △ 131 | △ 14 | △ 210 | △ 23 |

③【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

| | 前第2四半期連結累計期間 自 2018年1月1日 至 2018年6月30日 (単位：千米ドル) | 前第2四半期連結累計期間 自 2018年1月1日 至 2018年6月30日 (単位：百万円) | 当第2四半期連結累計期間 自 2019年1月1日 至 2019年6月30日 (単位：千米ドル) | 当第2四半期連結累計期間 自 2019年1月1日 至 2019年6月30日 (単位：百万円) |
|----------------------|--|---|--|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 税金等調整前四半期純損失 (△) | △ 13,482 | △ 1,453 | △ 2,485 | △ 268 |
| 減価償却費 | 576 | 62 | 765 | 82 |
| のれん償却額 | 604 | 65 | 259 | 28 |
| 受取利息及び受取配当金 | △ 0 | △ 0 | △ 53 | △ 6 |
| 支払利息 | 122 | 13 | 44 | 5 |
| 為替差損益 (△は益) | 97 | 10 | △ 86 | △ 9 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 241 | 26 | 8 | 1 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 0 | 0 | - | - |
| 減損損失 | 10,568 | 1,139 | - | - |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △ 893 | △ 96 | 1,272 | 137 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,391 | 150 | 5 | 1 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △ 258 | △ 28 | △ 147 | △ 16 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 50 | 5 | 103 | 11 |
| 小計 | △ 983 | △ 106 | △ 316 | △ 34 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △ 49 | △ 5 | △ 306 | △ 33 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,032 | △ 111 | △ 622 | △ 67 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 利息及び配当金の受取額 | 0 | 0 | 53 | 6 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 68 | △ 7 | △ 54 | △ 6 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 168 | △ 18 | △ 1,205 | △ 130 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 236 | △ 25 | △ 1,207 | △ 130 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | - | - | △ 39 | △ 4 |
| 新株発行による収入 | 5,094 | 549 | 933 | 101 |
| ファイナンス・リース債務の支出 | - | - | △ 176 | △ 19 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 5,094 | 549 | 719 | 77 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 79 | △ 9 | △ 9 | △ 1 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 3,746 | 404 | △ 1,119 | △ 121 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,352 | 254 | 8,420 | 908 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,098 | 657 | 7,302 | 787 |

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当社グループは、当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度から引き続き営業損失2,729千ドル(294百万円)、及び親会社株主に帰属する四半期純損失2,273千ドル(245百万円)を計上しております。また当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローも622千ドル(67百万円)のマイナスとなっております。

2017年度第3四半期に、Activate Interactive Pte. Ltd. (以下「Activate」といいます。)が当社グループの連結子会社となってから同社の売上高を連結し、また、新華モバイル・リミテッド (以下「新華モバイル」といいます。) 及び新華モバイル (香港) リミテッド (以下「新華モバイル (香港)」) といいます。) によるライセンス事業に伴う売上高も連結しておりますが、営業費用が依然として高いこと、そして、ライセンス事業は、前年度から続き当第2四半期連結累計期間において売上がなかったことから、当社グループは当第2四半期連結累計期間においても継続して営業損失を計上しております。また、当社グループのキャッシュ・フローは非常に厳しいため、引き続き既存の借入金を返済するための資金が不足しております。これらの状況により継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

GINSMS Inc. (以下「GINSMS」といいます。) は現在、A2Pメッセージング・サービスにフォーカスしております。GINSMSの事業は、成長してきましたが、主要な顧客の喪失により2018年度第1四半期において減損損失を認識しております。GINSMSは現在保有している資金で新たな顧客の獲得を目指します。

また、2017年度第3四半期より連結子会社であるActivateは、モバイルの分野において、ウェルネス・サービス、ヘルスケア・ウェアラブル端末、センサー、メディカル情報、データ分析のヘルスケア事業を提供しており、また新華モバイル及び新華モバイル (香港) は、2017年度同四半期よりライセンス事業を開始しました。

さらに、Beat Chain Pte. Ltd. は、2018年度第2四半期にライセンス事業の一部として、メンタル、フィジカル・ヘルス・レコード及びその他の分野のデータをクロノロジカル (時系列) に保存・管理することを目的とした、健康医療分野でのエコシステム の運営を可能にするブロックチェーン技術を利用した健康医療分野エコシステム運営ソフトウェアの開発に着手しております。

2018年10月10日付で、当社は、今後10年間の当社グループの中核事業となることを企図している暗号メッセージング及び財布機能と健康医療分野エコシステム運営ソフトウェアを開発するための資金を調達することを目的に、第三者割当によりマッコーリー・バンク・リミテッドに2種類の行使価額修正条項付新株予約権 (以下「シリーズ1新株予約権」及び「シリーズ2新株予約権」又は総称して「本新株予約権」といいます。) を発行しました。最近の当社の株価の低迷により、新株予約権の行使により十分な資金を調達できていないため、現在、新規事業の計画の見直しを行っております。当社グループは、今後、当社の株価が継続的に回復しただけ多くの新株予約権が行使されることで当社が資金を調達できることも期待しております。

上記のような各方策により当社グループの事業の成長と拡大を図ることを企図しておりますが、上記のとおり、当社グループのキャッシュ・フローは厳しいため、引き続き既存の借入金を返済するための資金が不足していることにより、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。このような状況を解消するため、当社グループは継続的に経費削減を実施し、更に資金調達できる機会を模索し、また、当社の既存事業及び新規事業とのシナジーが期待できる潜在業務提携先の発掘も行っていきます。加えて、当社グループは収益性及び営業キャッシュ・イン・フローの双方の観点から、新規事業の開発を着実に進めるほか、事業のリストラクチャリングも含めた様々な手法により成長の機会をとらえていきたいと考えております。

ただし、当社グループの事業の継続可能性は、新規事業の開発、本新株予約権の行使によって調達できる資金の額、事業のリストラクチャリング及び事業の成長に強く依存していることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表に反映しておりません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、2019年1月1日から国際財務報告基準第16号（以下「IFRS 16」といいます。）「リース」を採用しております。IFRS 16は、借手に対して単一、オンバランスの会計モデルを導入しました。その結果、当社グループは、借手として、2019年1月1日時点で原資産を使用する権利を表す使用権資産625千米ドル（67百万円）及びリース料の支払義務を表すリース負債625千米ドル（67百万円）を認識しております。

また、IFRS 16に基づくリースに関して、当社グループはオペレーティング・リース費用の代わりに減価償却費及び支払利息を認識しております。当第2四半期連結累計期間において、当社グループはこれらのリースから163千米ドル（18百万円）の減価償却費及び23千米ドル（2百万円）の支払利息を認識しております。

当社グループは修正遡及アプローチを採用してIFRS 16を適用しており、当該会計基準に定める経過的な取扱いに従い、適用開始による累積的影響額は適用開始日現在の利益剰余金の期首残高の修正として認識されます。結果として、2019年1月1日時点の利益剰余金への影響はありませんでした。また、前連結会計年度の比較情報は修正再表示されておられません。

(追加情報)

(四半期財務諸表の円換算)

「円」で表示されている金額は、四半期財務諸表等規則第88条の規定に準じて、2019年6月28日現在の株式会社三菱UFJ銀行における対顧客電信売買相場の仲値、1米ドル＝107.79円で換算された金額であります。なお、当該円換算額は、単に表示上の便宜を目的としており、米ドルで表示された金額が上記の相場で実際に円に換算されることを意味するものではありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

| 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|--|--|
| ※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額 | ※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額 |
| 33 | 20 |
| (4) | (2) |
| 投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額 | 投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額 |
| 883 | 883 |
| (95) | (95) |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

| 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) |
|---|---|
| ※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 | ※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 |
| 現金及び預金勘定 | 現金及び預金勘定 |
| 6,098 | 7,302 |
| (657) | (787) |
| 現金及び現金同等物 | 現金及び現金同等物 |
| 6,098 | 7,302 |
| (657) | (787) |

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において新株予約権等の行使により普通株式を10,891,333株発行したことにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ14千米ドル(2百万円)、5,250千米ドル(566百万円)増加しました。

当第2四半期連結会計期間末において、資本金は34千米ドル(4百万円)、資本剰余金は437,309千米ドル(47,138百万円)となっております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において新株予約権等の行使により普通株式を1,080,000株発行したことにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2千米ドル(0百万円)、960千米ドル(103百万円)増加しました。

当第2四半期連結会計期間末において、資本金は42千米ドル(4百万円)、資本剰余金は442,597千米ドル(47,708百万円)となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|---------------------------|----------------|---------------|---------------------|------------------|---------------------|---------------|-----------------------|
| | ヘルスケア 事業 | ライセンシ ング事業 | メッセー ジ ング事業 | その 他の 事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上 高 | 2,055 (222) | - (-) | 2,286 (246) | 2 (0) | 4,343 (468) | - (-) | 4,343 (468) |
| (2) セグメント間の内 部売上高又は振替高 | 22 (2) | - (-) | 329 (35) | - (-) | 351 (38) | △351 (△38) | - (-) |
| 合計 | 2,078 (224) | - (-) | 2,615 (282) | 2 (0) | 4,695 (506) | △351 (△38) | 4,343 (468) |
| セグメント利益又は損 失(△) | △686 (△74) | △193 (△21) | △11,310 (△1,219) | △1,149 (△124) | △13,338 (△1,438) | - (-) | △13,338 (△1,438) |

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メッセージング事業」セグメントにおいて、GINSMSの事業環境の変化により、当初想定した超過収益力が認められなくなったのれんについての減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は10,339千米ドル (1,114百万円) であります。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|---------------------------|------------------|---------------|-------------------|------------------|------------------|---------------|-----------------------|
| | ヘルスケア 事業 | ライセンシ ング事業 | メッセー ジ ング事業 | その 他の 事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上 高 | 3,536 (381) | - (-) | 739 (80) | 1 (0) | 4,276 (461) | - (-) | 4,276 (461) |
| (2) セグメント間の内 部売上高又は振替高 | 57 (6) | - (-) | 286 (31) | - (-) | 343 (37) | △343 (△37) | - (-) |
| 合計 | 3,592 (387) | - (-) | 1,025 (111) | 1 (0) | 4,619 (498) | △343 (△37) | 4,276 (461) |
| セグメント利益又は損 失(△) | △1,021 (△110) | 0 (0) | △235 (△25) | △1,018 (△110) | △2,273 (△245) | - (-) | △2,273 (△245) |

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

(単位：米ドル、括弧内は円)

| 項目 | 前連結会計年度末 (2018年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間末 (2019年6月30日) |
|-----------|---------------------------|-------------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 0.24 (25.87) | 0.19 (20.48) |

2. 1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：米ドル、括弧内は円)

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 1株当たり四半期純損失 (△) | △0.79 (△85.15) | △0.07 (△7.55) |

(算定上の基礎)

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日) |
|---|---|---|
| 親会社に帰属する四半期純損失(△) | △13,338 (△1,438) | △2,273 (△245) |
| 普通株主に帰属しない金額 | - (-) | - (-) |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失 (△) | △13,338 (△1,438) | △2,273 (△245) |
| 普通株式及び優先株式の期中平均株式 数 (株) | 16,916,352.67 | 31,864,218.10 |
| 普通株式 | 16,691,352.67 | 31,639,218.10 |
| 優先株式 | 225,000.00 | 225,000.00 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり四半期純利益の算定に 含めなかった潜在株式で、前連結会計 年度末から重要な変動があったものの 概要 | - | - |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。